

自然エネルギーを活用した快適なまちづくり

自然エネルギーをすすめる我孫子の会

1 エネルギー消費実態

我孫子市の年間消費エネルギー費用

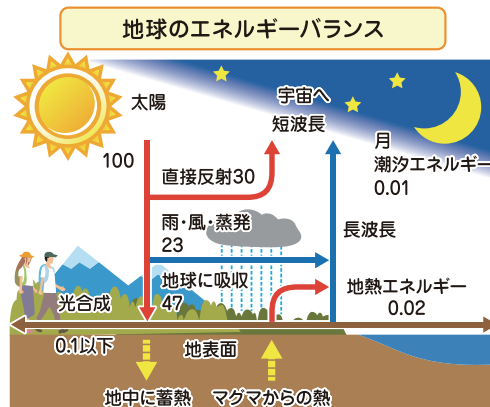
年間の家庭・業務・産業部門を
含めたすべての光熱費用は
約225億円

1日当たりのエネルギー消費量の推移

時代	消費量(kcal/人・日)
原始人(約100万年前)	2,000
狩猟人(約10万年前)	5,000
初期農業人(BC 5,000年)	12,000
高度農業人(1400年代)	26,000
産業人(1870年代)	77,000
現代人	200,000

*現在使用しているエネルギー量は膨大
*省エネルギーの必要性を強く要望

2 地球上のエネルギー



地球上のエネルギー資源

- 太陽エネルギー** 圧倒的な量(地中にも蓄熱されている)
- 地熱エネルギー** 温泉など手軽に利用(マグマから熱)
- 潮汐エネルギー** 有効利用が待たれる(月と太陽の引力による潮の満ち引き)

3 再生可能エネルギーの利用

再生可能エネルギーとは？

- リニューアブル(Renewable)エネルギー自然エネルギーとも呼ばれる
- Renewable「尽きることなく使える」の意味

Re(再) New(新) Able(能力)

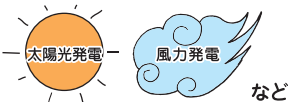
再生可能エネルギーの条件

- 入手しやすい** 豊富で経済的
- 使いやすい** 良質で供給の信頼性が高い
- 受け入れやすい** 安全性が高く環境負荷が低い

集中型から分散型への移行



大型・高密度・
集中型



小型・低密度・
分散型

4 東葛地域市民発電所第1号の設置

(第2号も発電開始)

市民発電所第1号

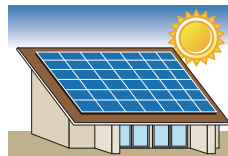
市民



我孫子市

自然エネルギーを
すすめる我孫子の会

一般社団法人
あびこ自然エネルギー
発電事業



東葛地区市民発電所第1号
(定格発電容量11kW)

発電所名

NPO法人木の子クラブ我孫子「ひの木」
我孫子市湖北台3-4-7
設置場所: 障がい者支援施設の屋根に太陽光パネル設置

環境・エネルギーコミュニティの構築

- 自然エネルギーは市民の貴重な財産
- エネルギーの地産・地消
- 市民参加によるエネルギー供給システム
- ヒト・カネ・モノ循環型地域社会の実現



自然エネルギーをすすめる我孫子の会



会 長 佐々木 正元
電 話 04-7185-1484
事務局 我孫子市役所
手賀沼課
住 所 我孫子市
高野山新田193
水の館3階

市民と我孫子市が協働して、地域固有にある自然エネルギーを有効に活用して「脱炭素社会」を進めます。また、省エネと創エネによる街づくりを目指して、2015年11月から活動しています。2017年6月には、当会の有志によって発電事業を行う「一般社団法人 あびこ自然エネルギー」を設立しました。2021年8月には、市民の志金(寄付・出資)で太陽光PV設備の市民発電所第1号を我孫子市湖北台に設置し、発電を開始しています。今後は我孫子市の「ゼロカーボンシティ宣言」(2020年7月)を踏まえ、自家消費型の発電設備を基本に、自然エネルギーの普及促進と脱炭素化を目指します。